

日本学術会議公開シンポジウム「令和元年台風19号に関する緊急報告会」（案）

主 催：防災学術連携体

日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会

日 時：令和元年12月24日（火） 13：00～17：30

場 所：日本学術会議講堂

開催趣旨：

10月12日に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した台風19号は、広い範囲にわたり記録的な大雨をもたらした。静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県、茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県、岩手県の13都県に大雨特別警報が発表され、10日からの総雨量は神奈川県箱根で1000ミリに達し、17地点で500ミリを超えた。

16日時点で、68河川125か所で堤防が決壊し、16都県の、のべ262河川で越水等による氾濫が発生し、2万棟以上の住宅が浸水し、77名の死亡が確認されている。なお、被害の全容はまだ把握されていない。政府は特定非常災害に指定する予定である。

防災学術連携体（57学会）はホームページに台風19号のページを開設し、学会の調査情報、国土交通省・気象庁などの最新情報を掲載し、関係者間の情報共有に努めている。

日本学術会議と防災学術連携体は、被害の拡大を防ぎ、地球温暖化と共に激化する気象災害の軽減に取り組むため緊急報告会を開催する。台風19号に関する学会の調査結果を共有し、学会間の情報交流を進め、今後の対策を総合的に検討する。

13:00 開会挨拶

13:02 来賓挨拶 内閣府 防災担当

13:05 趣旨説明

13:15 緊急報告

防災学術連携体を構成する57学会から発表者（1学会から1人）を募集する。

防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会の委員からも発表者を募集する。

発表時間は発表者数によって決める。

17:00 総合討論

17:27 閉会挨拶

17:30 終了